

肺癌による喀血に対して気管支動脈塞栓を施行した1例 —大動脈造影下CTでの治療効果判定—

とちぎメディカルセンターしもつが 放射線科 藤栄寿雄



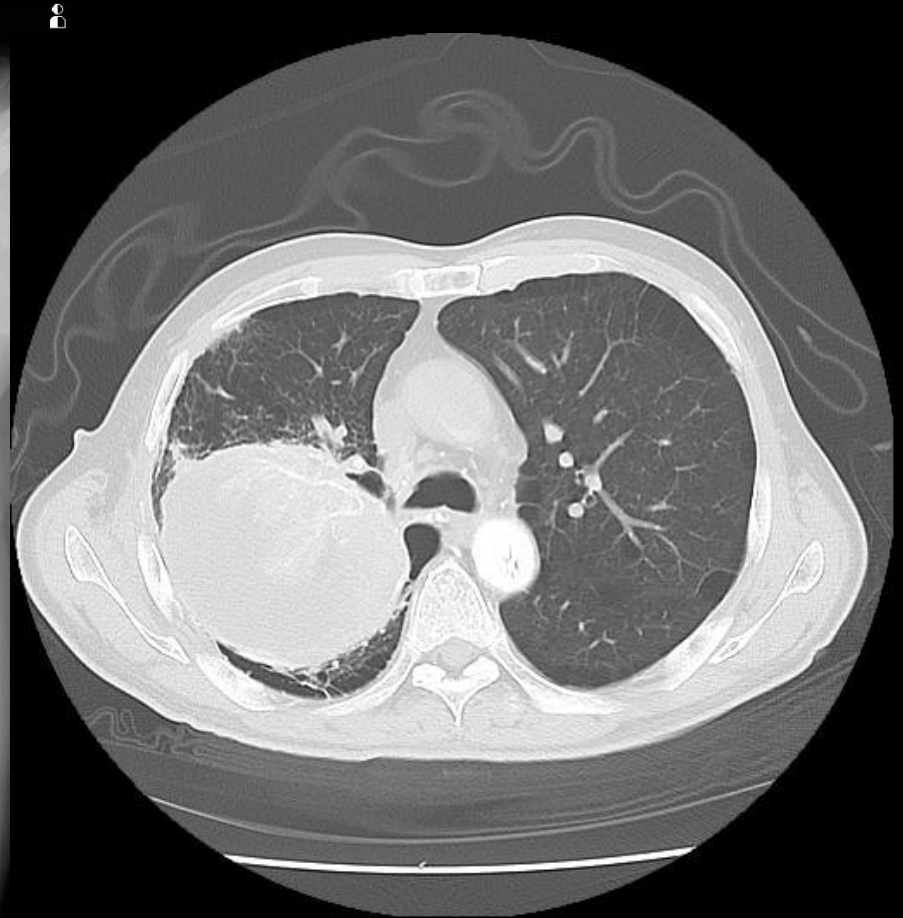
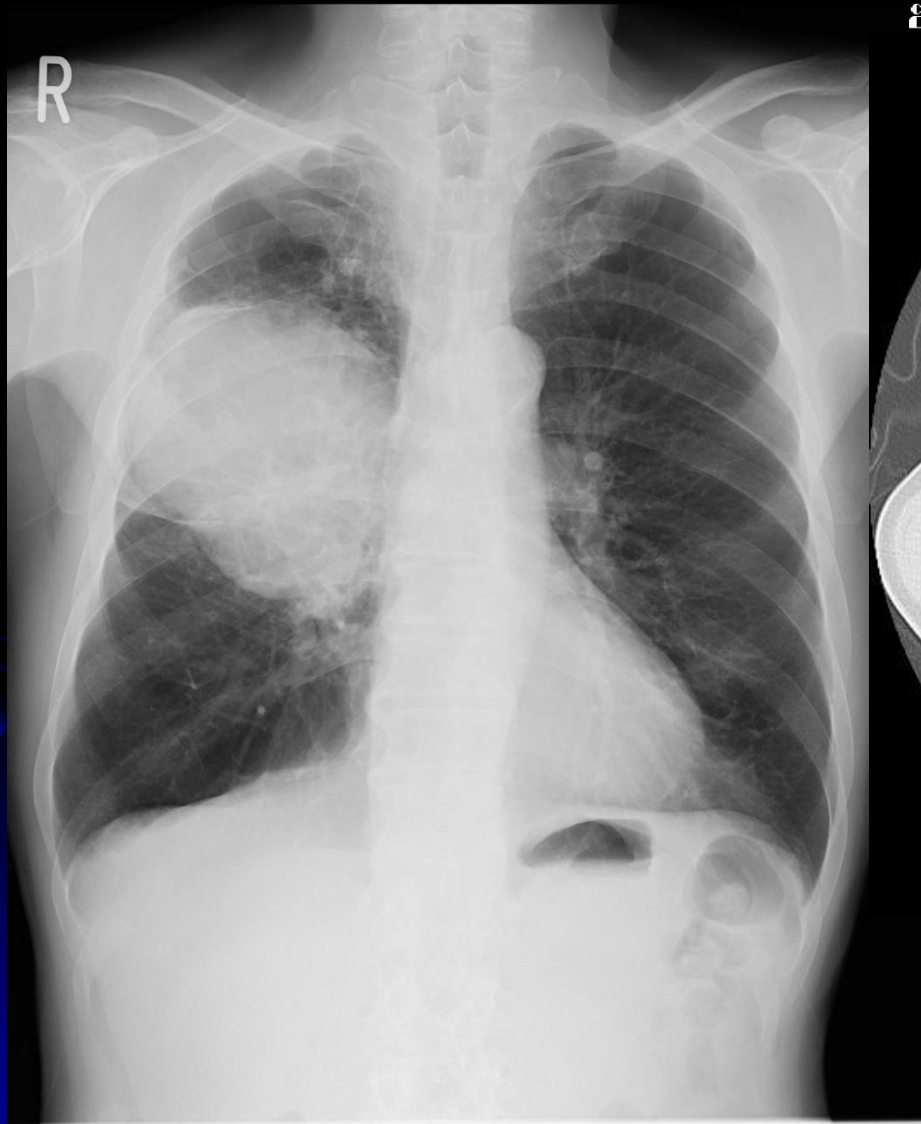
症例 70歳代 男性

2年前より右肺腺癌と診断され化学療法で経過追跡中、突然に喀血が出現、頻回となったため、緊急IVRを依頼された。

喫煙歴：20本/40年

既往歴： 5年前～高血圧、高脂血症

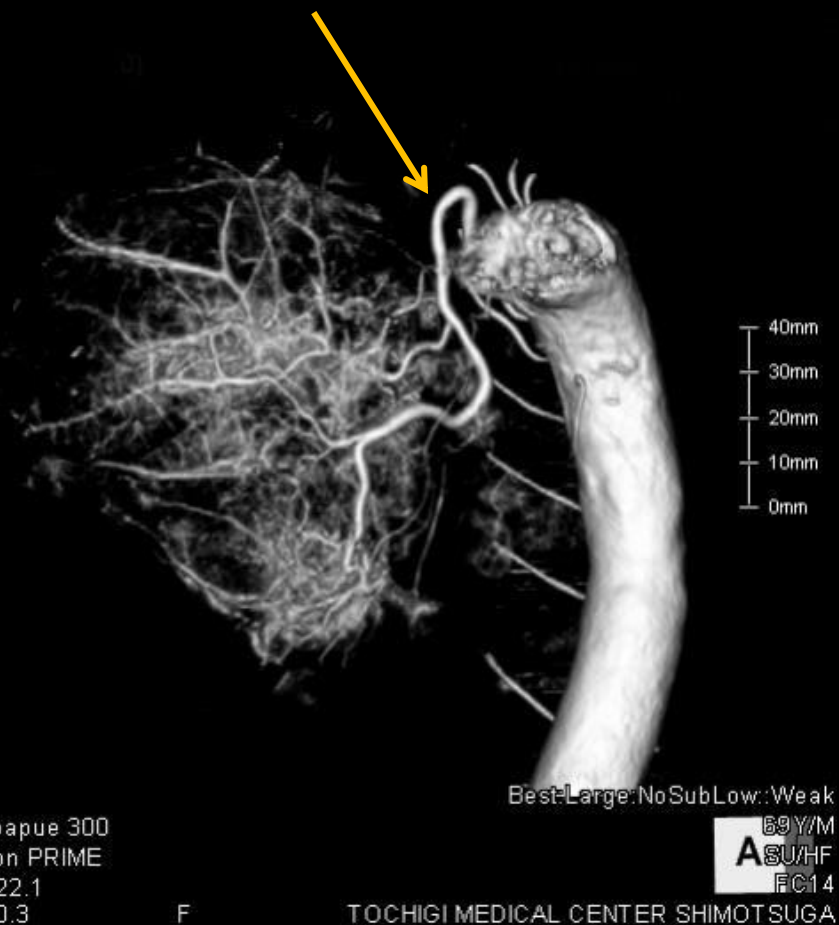
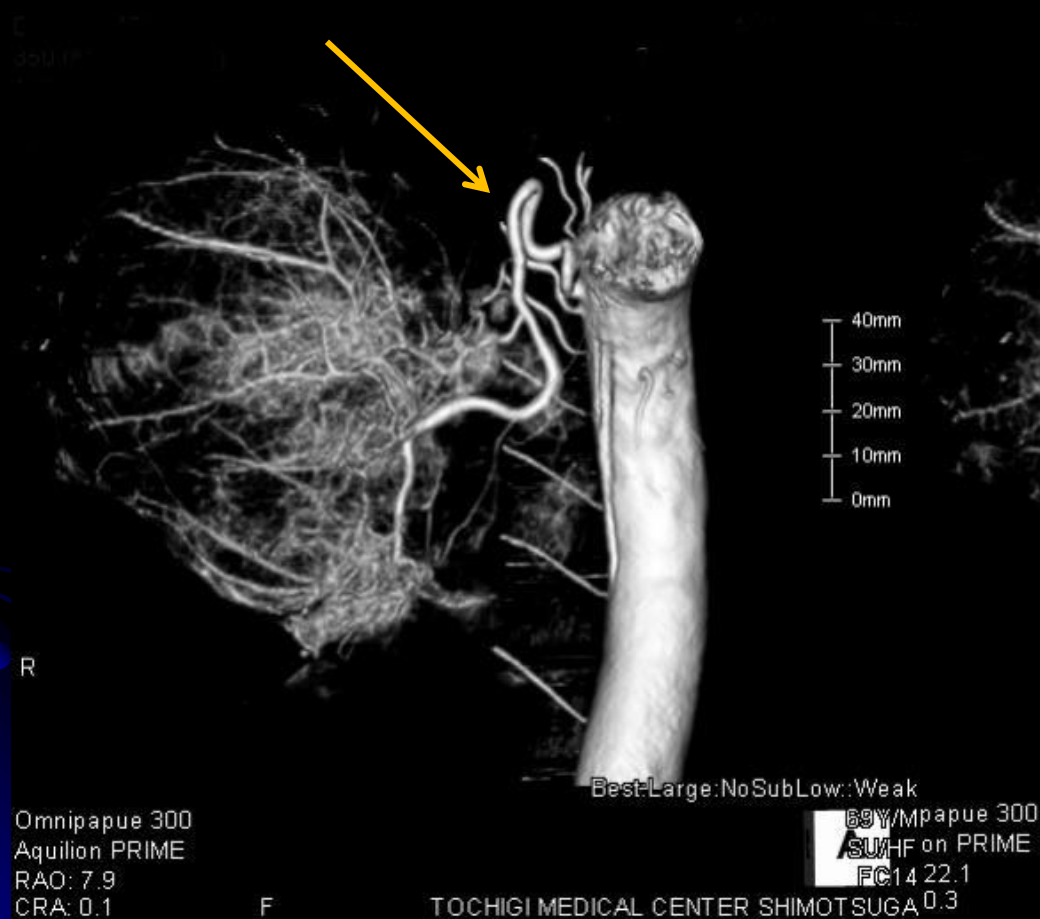
気管支鏡にて右肺上葉枝に出血疑い



大動脈造影下CT

気管支動脈

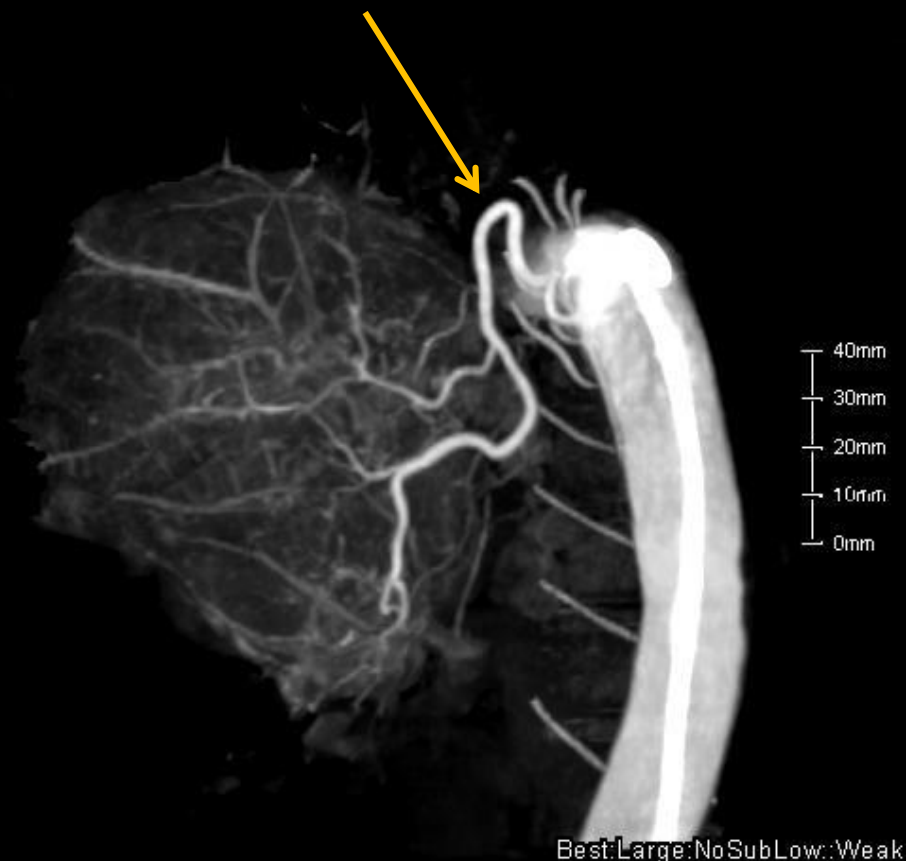
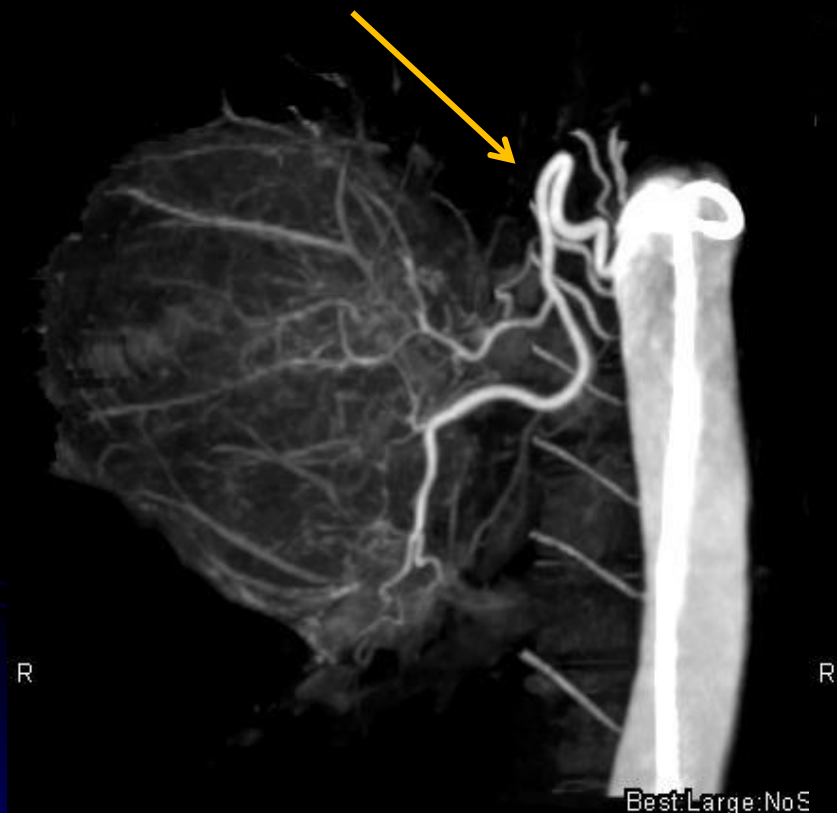
VR



大動脈造影下CT

気管支動脈

MIP



Omnipapue 300
Aquilion PRIME
RAO: 7.9
CRA: 0.1

Omnipapue 300
Aquilion PRIME
LAO: 22.1

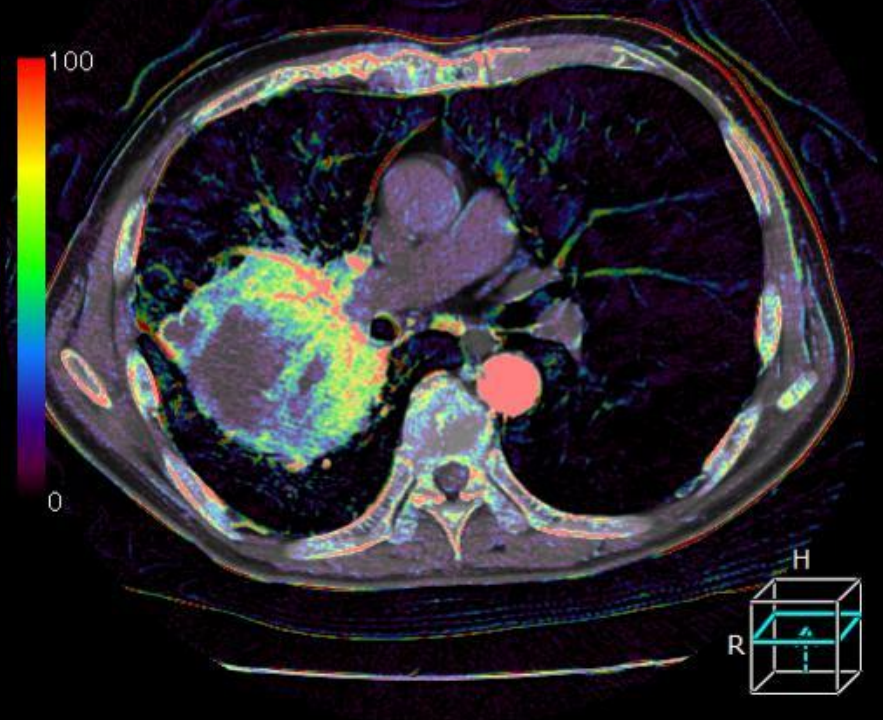
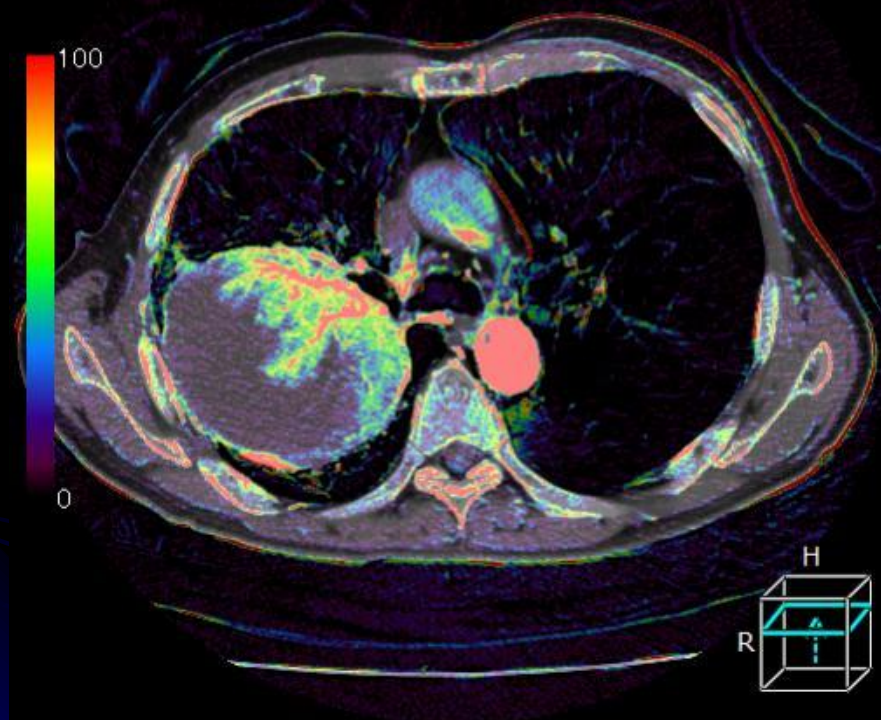
Best: Large: NoSubLow: Weak

69Y/M
AsuHF
FC14

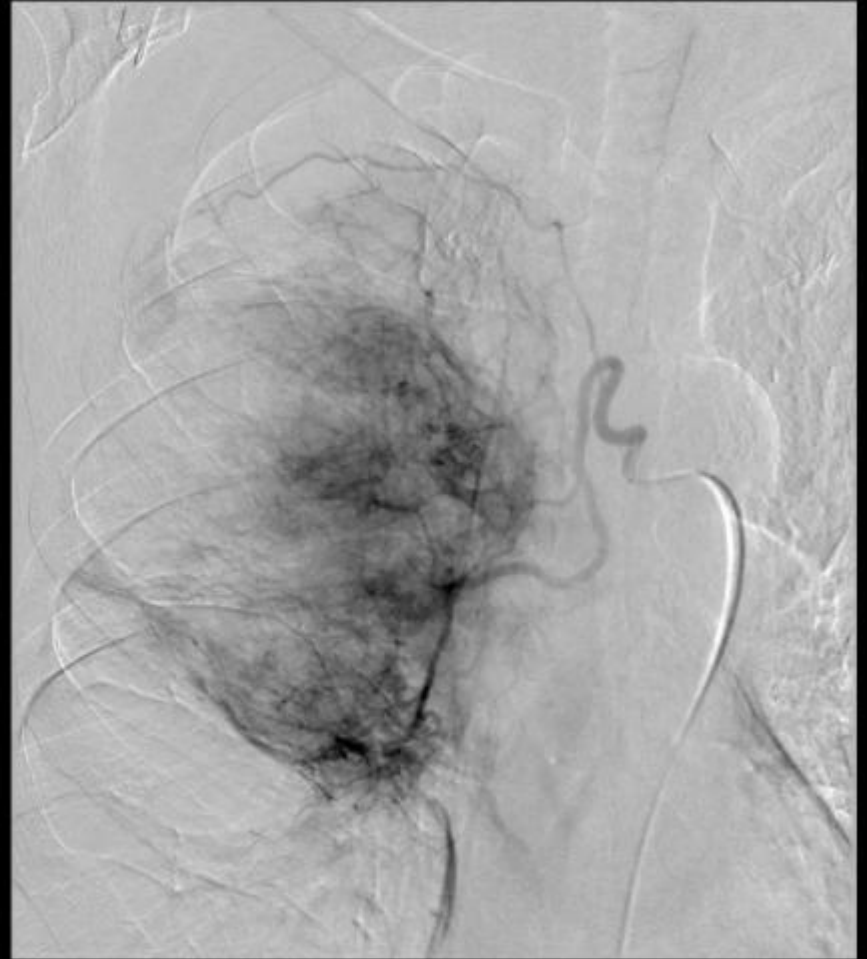
TO CHIGI MEDICAL CENTER (CAU: 0.3)

TO CHIGI MEDICAL CENTER SHIMOTSUGA

肺血流画像



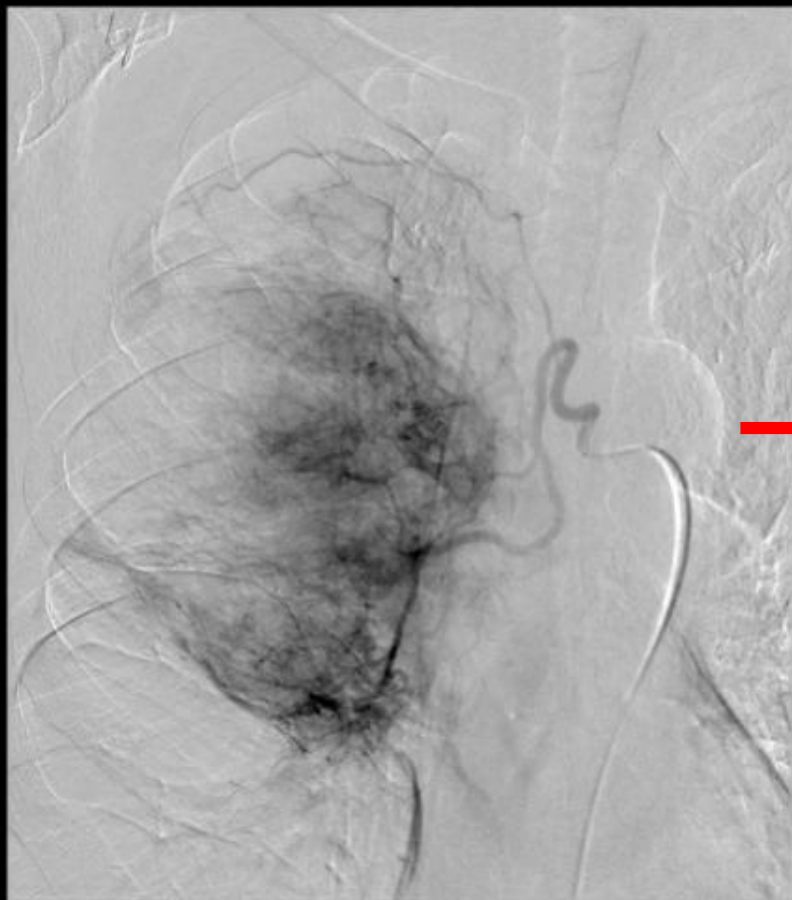
右気管支動脈造影



マイクロカテーテル より造影



右気管支動脈造影

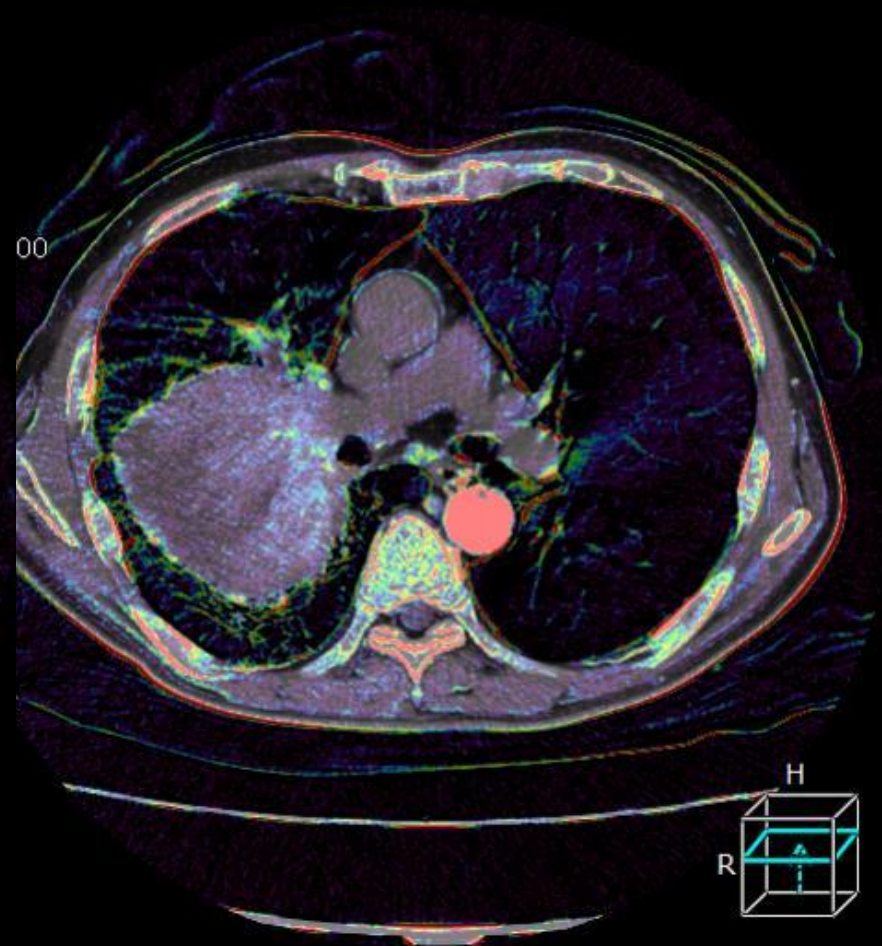
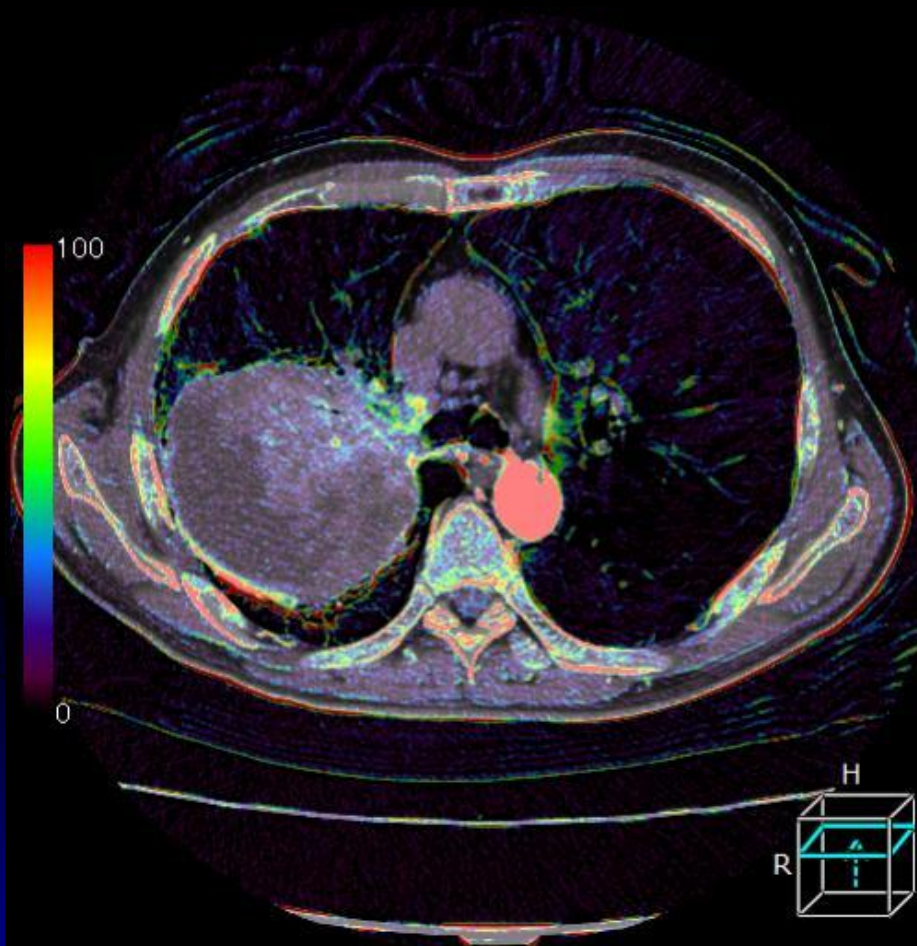


Gelatin sponge
で塞栓



肺血流画像

* 止血に成功

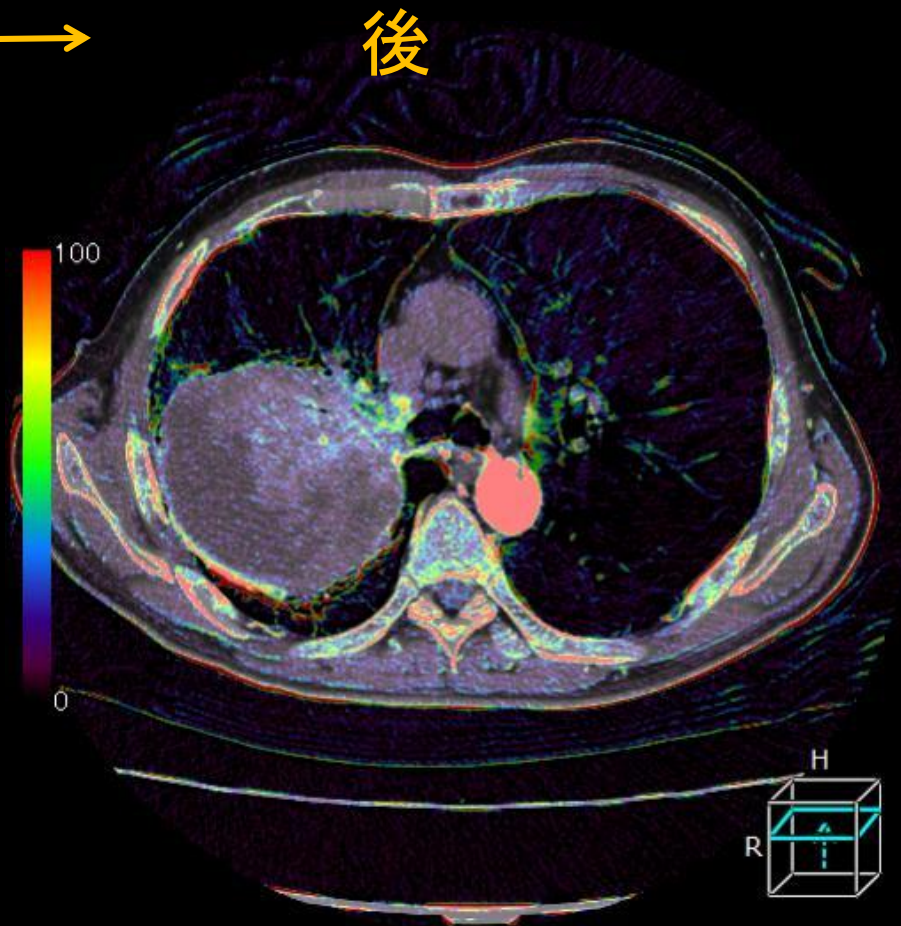
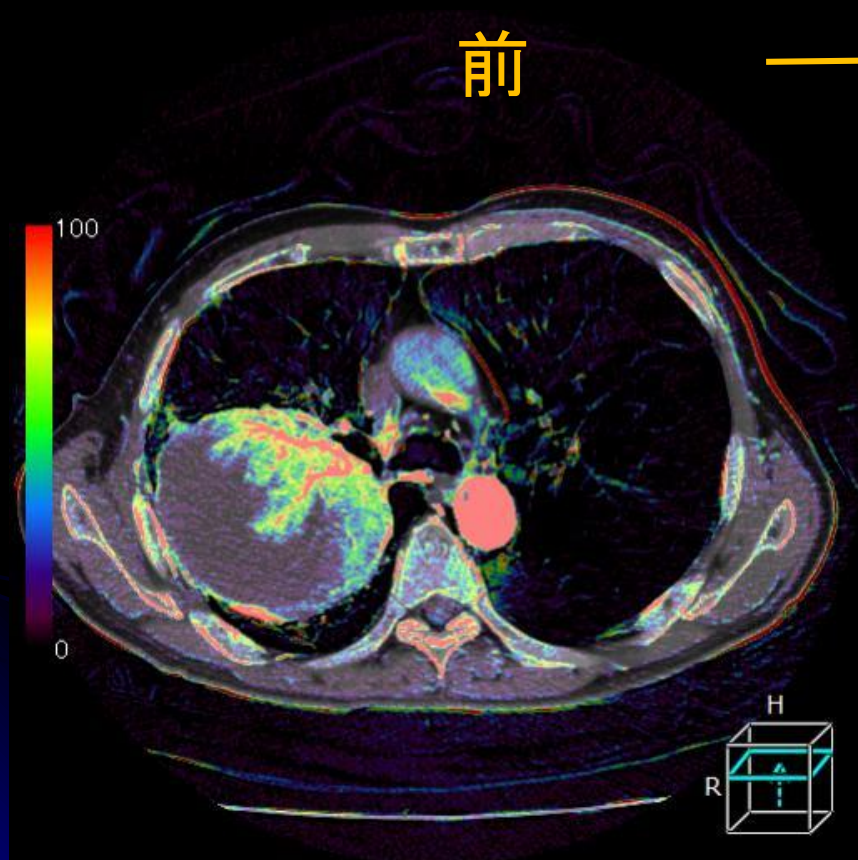


肺血流画像の変化

前



後

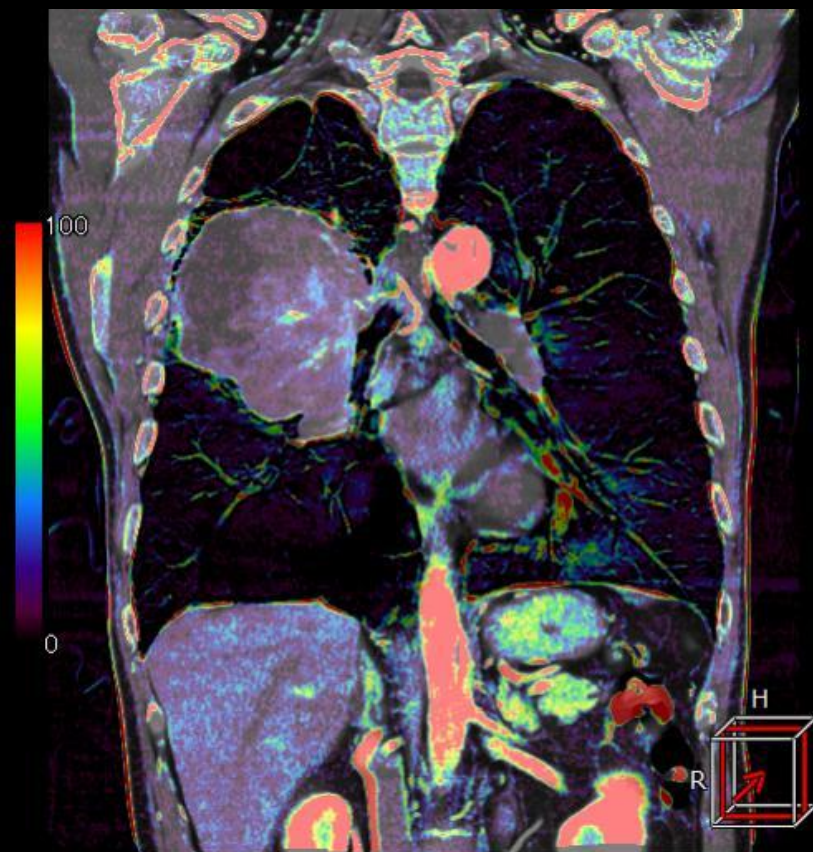
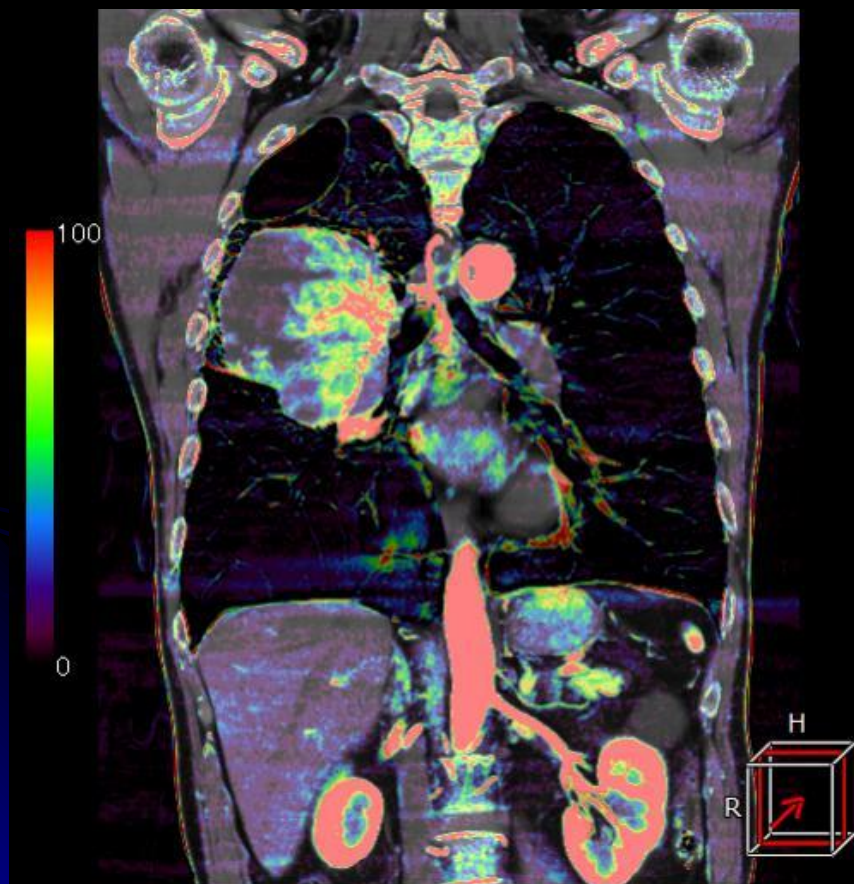


肺血流画像

前

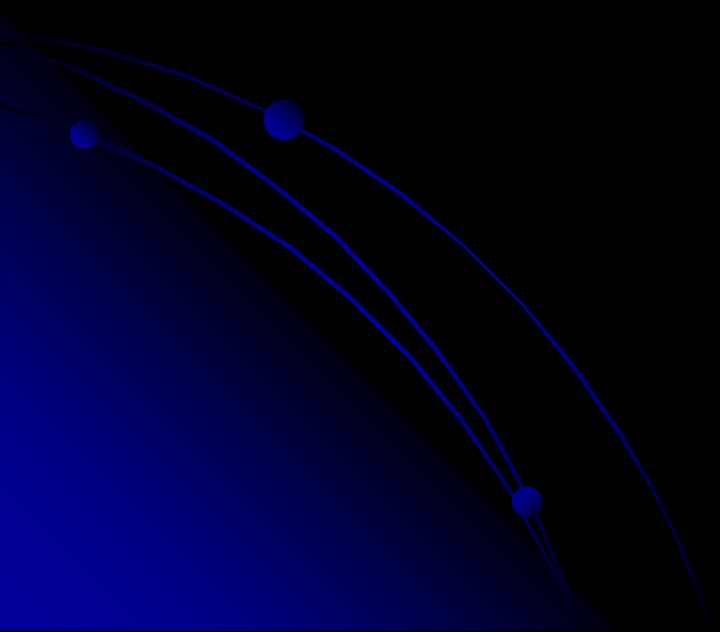


後



塞栓後の経過

塞栓によりほぼ止血が得られたが、術後より
39度台の発熱が出現、持続した。

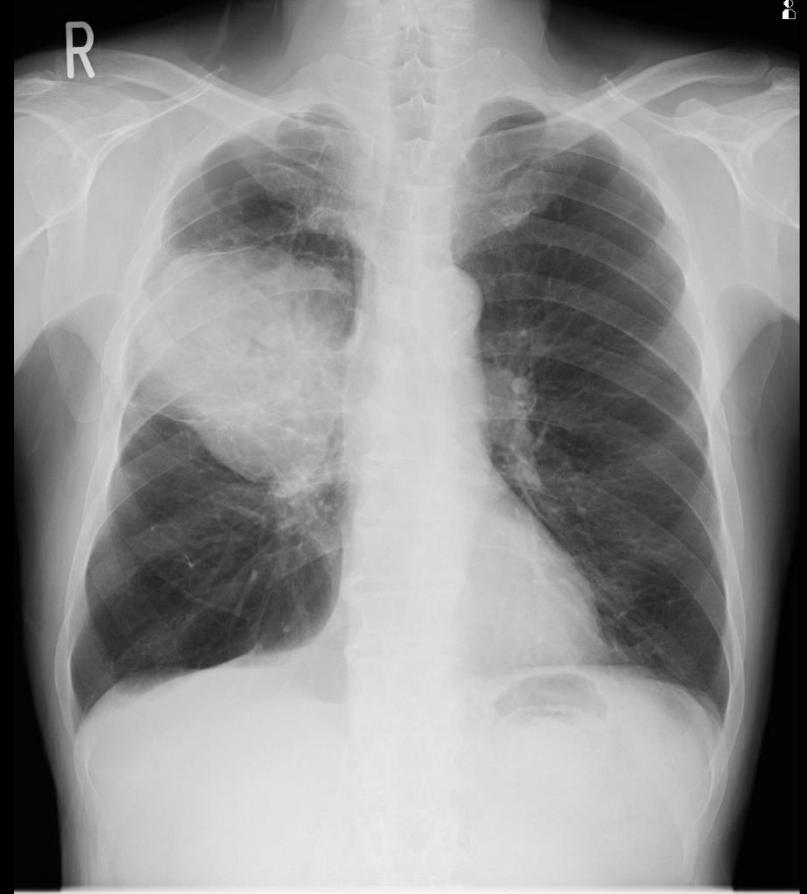
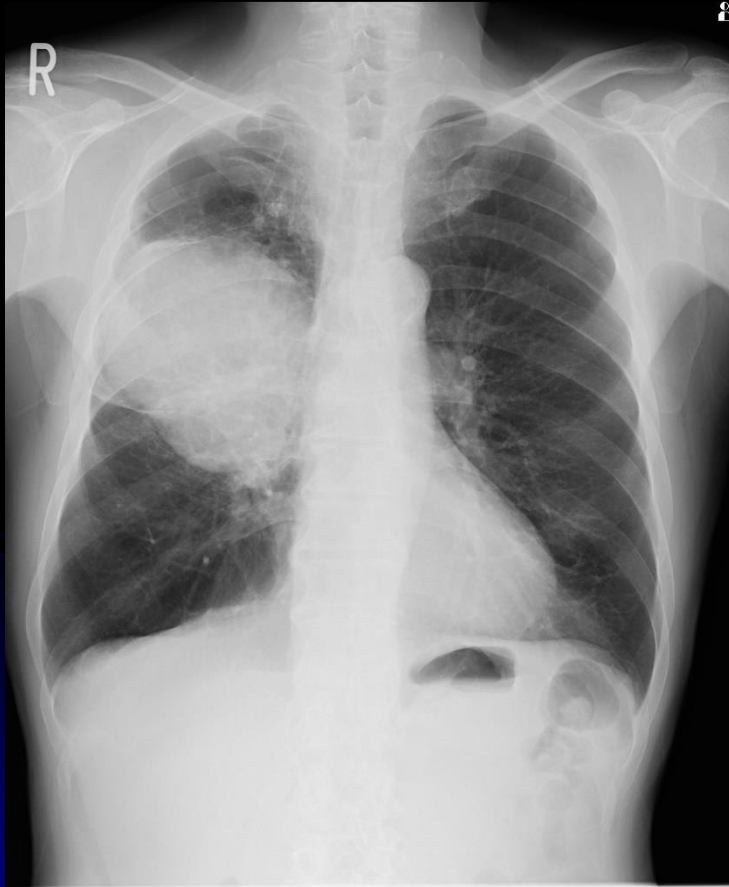


塞栓5日後 単純XP

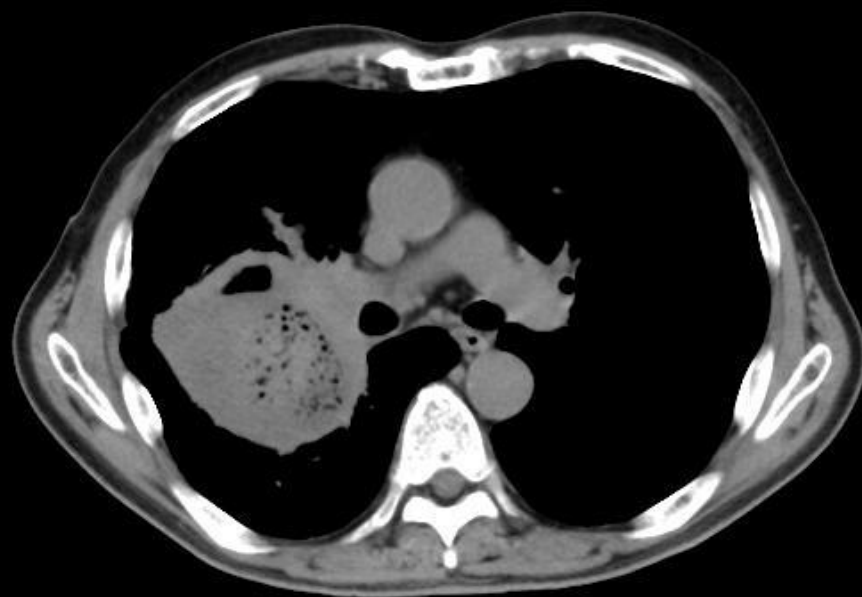
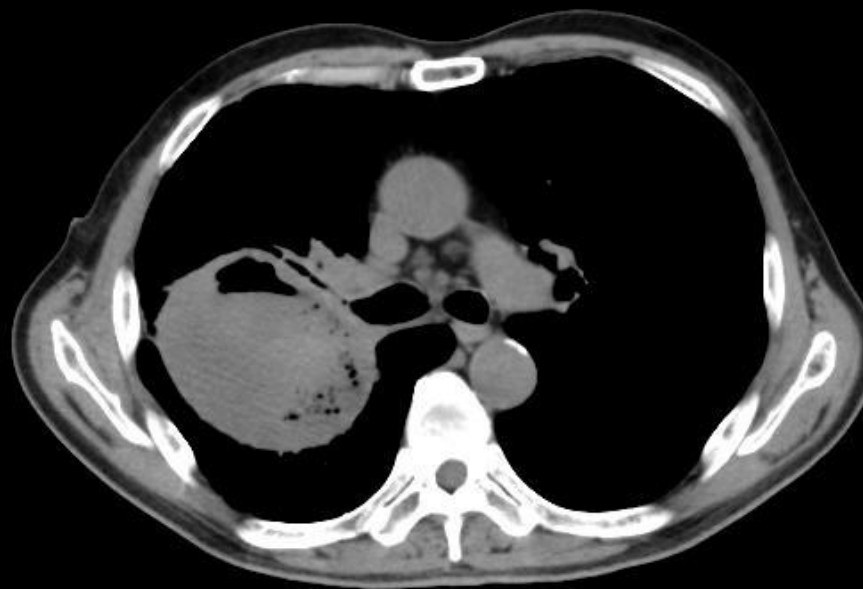
前



後



塞栓5日後単純CT



塞栓後の経過

- ・腫瘍は縮小傾向、内部にガス像～腫瘍の壊死、膿瘍形成が疑われた。
- ・抗生剤投与で経過観察、約5日後に解熱、退院となった。

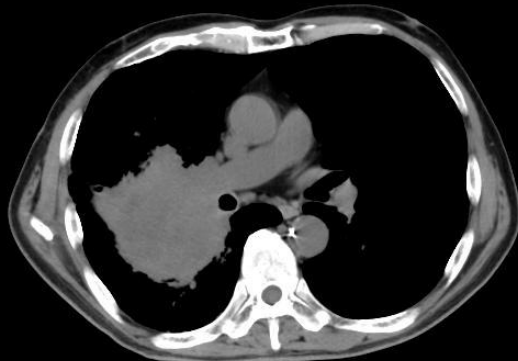
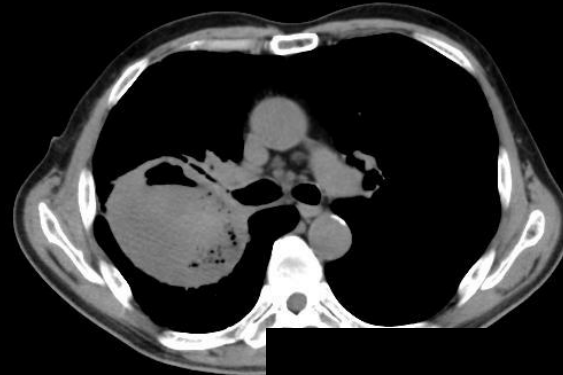
CTの変化

* 腫瘍内に壊死、膿瘍疑い

前

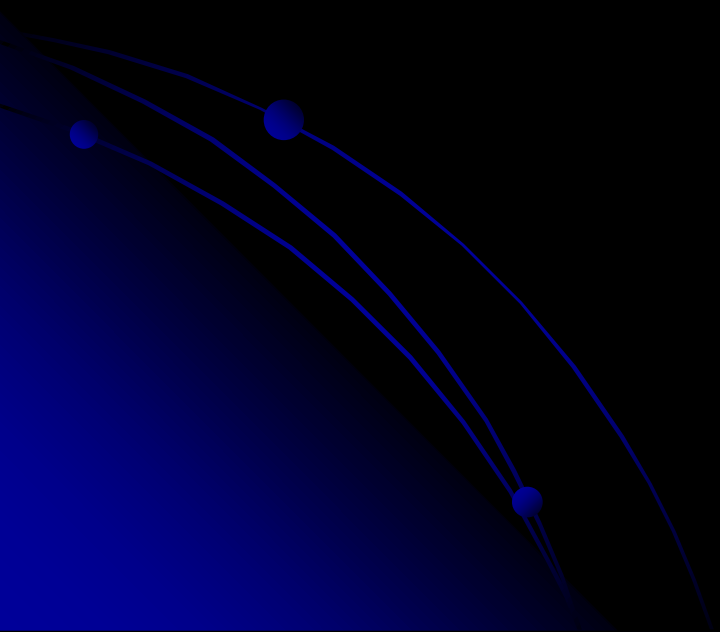


後



その後の経過

腫瘍は緩徐に再増大、全身状態の悪化が徐々に進行、塞栓から約2年で永眠した。



ま と め

気管支動脈塞栓術後に腫瘍壊死、膿瘍形成を認めた肺癌症例を提示した。

大動脈造影下CTは治療前後の血流変化の評価に有用であった。

